

木造住宅耐震化緊急啓発事業（啓発業務）委託企画提案競技
質問回答表

宮崎県県土整備部建築住宅課

No.	質問	回答
1	バス車内広告について、台数は何台程度か。	50台以上。
2	宮崎県の現状について、どこから出ている情報が最新で、県民に伝えるべきなのか。（ホームページや書籍等）	<p>参考ホームページは下記の通り 【宮崎県HP】耐震診断、耐震改修工事等に対する助成制度のお知らせ https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kenchikujutaku/kurashi/shakaikiban/joseiseido.html</p> <p>【宮崎県HP】「宮崎県建築物耐震改修促進計画」を改定しました https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kenchikujutaku/kurashi/shakaikiban/page00071.html</p> <p>【宮崎県HP】新・宮崎県地震減災計画について https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kiki-kikikanri/kurashi/bosai/soutei.html</p> <p>【日本建築防災協会HP】耐震支援ポータルサイト https://www.kenchiku-bosai.or.jp/srportal/</p>
3	作成するポスター・チラシのそれぞれのサイズ、また提出先はどこか。	ポスターはA1サイズ。チラシはA4サイズ。提出先は、建築住宅課。
4	宮崎県ホームページにある「木造住宅耐震化事業PRパンフレット」は、県内全市町村で配布しているものか。	市町村によってはパンフレット記載の補助上限額、補助メニューが違うため使っていないところもある。
5	現在の補助事業がうまく進んでいない原因はどんな事があげられるか。	<p>耐震改修は水回りのリフォームのように生活が改善され実感できるものではないため、所有者が耐震に対して意欲的にならないこと。 該当建物所有者の多くは高齢者であり、改修工事費の用意ができなく、また長く住む気はない、自分たちが住むだけだからと工事に踏み切ってくれないこと。 数年前に耐震工事関係で悪徳業者等の報道があったため、不安がある。等</p>

6	<p>県内の昭和 56 年 5 月 31 日以前に着工された木造住宅が多い地区はどこか。(バス広告路線選定)</p>	<p>宮崎県HPに公表している各市町村の状況を参照ください。(市町村により数値の算出方法や算出時期が異なりますので、参考程度としてください)</p> <p>【宮崎県HP】木造住宅及び危険ブロック塀の耐震化の目標・実績等を公表します https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kenchikujutaku/kurashi/shakaikiban/20210709172646.html</p>
7	<p>説明会で耐震化を申し込まない理由として費用とそして過去に耐震改修の詐欺事件にあったからと聞いたが今回、宮崎県の対策(特に詐欺)として実施することはあるか。また、検査を行うとも聞いたがどのタイミングで、どのような検査を行うのか。</p>	<p>詐欺に特化した対策は行っていません。</p> <p>検査については、時期・方法は耐震事業を実施する市町村によって異なります。事業完了時に施工写真・書類等による完了検査を行い、耐震補強に係る金物及び筋交い等の施工後に市町村職員が施工現場に立ち会いを行う中間検査を実施する市町村もあります。</p>